

癌化学療法名 肺癌(非小細胞) カルボプラチン・毎週アブラキサン療法

実施部署	外来・入院	1クール日数	21day	承認済	2013.5月
番号	抗がん剤名・略称	1日投与量	投与方法	投与日	
1	カルボプラチン:パラプラチン	AUC6(350~900mg)	div.(点滴静注)	day1	
2	nab-パクリタキセル:アブラキサ	100mg/m ²	div.(点滴静注)	day1,8,15	
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アブラキサンは、パクリタキセルのアルブミン結合型 ・A法/B法減量)好中球<500/mm³(1000でも減量を考慮)、血小板<5万/mm³、末梢神経障害≥Grade3(G2以下でも減量を考慮する)皮膚障害≥Grade2、粘膜炎又は下痢≥Grade3、非血液学的毒性≥Grade3 ・カルボプラチンは1日目、アブラキサンは1、8、15日目に投与(基本は休薬なし)、3週毎、6コース以上を推奨 ・血液製剤なので、管理伝票が必要 ・アブラキサンの点滴時間は、30分 ・過敏反応予防としての前投薬は不要 ・PVCフリー輸液セットは不要 (PVC製輸液セット使用可) ・インラインフィルターは使用しない ・調製後の懸濁液は保存剤が含有していないため速やかに使用すること。やむをえず保存を必要とする場合は、冷蔵庫(2~8℃)に遮光保存して8時間以内に使用すること ・生理食塩液で調製し懸濁液とし、希釈はしない(アブラキサン粒子が崩壊するため) 				
投与日	薬剤名		ルート	時間	
day1	① ソルアセトF 500mL + ビタメジン1A		div	2時間	
	② グラニセトロン1mg/バッグ(又はアロキシ注0.75mg) + デキサート		div	30分	
	③ アブラキサン80mg/m ² + 生食50mL (3バイアル以上の時は100mL使用)		div	30分	
	(1バイアル当たり生理食塩液20mLで溶解し、空の点滴バッグに注入)				
	⑤ 外来:パラプラチン + 生食500mL		div	2時間	
	入院:カルボプラチン + 生食500mL		div	2時間	
	④生食20mL		フラッシュ		
day8,15	① 生食100mL + デキサート6.6mg		div	30分	
	② アブラキサン80mg/m ² + 生食50mL (3バイアル以上の時は100mL使用)		div	30分	
	(1バイアル当たり生理食塩液20mLで溶解し、空お点滴バッグに注入)				
	④生食20mL		フラッシュ		